

## 令和2年度加東市在宅医療・介護連携推進事業報告

これまで取り組んできている実施内容の更なる充実を図り、効果的かつ効率的に在宅医療・介護連携推進事業を推進するために PDCA サイクルの枠組みを継続的に実施することで在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築をめざす。

## 事業項目別事業実施内容

## ア、地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療機関、介護事業所等の資源情報を整理し、地域の医療・介護関係者および地域住民に対して情報提供を行う。(地域資源マップの改訂および配付)

## イ、在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

会議を通して、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行う。

## 【在宅医療・介護連携推進協議会】

月日	内容	場所	参加者
6月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度加東市在宅医療・介護連携推進事業報告について</li> <li>令和2年度加東市在宅医療・介護連携推進事業計画(案)について</li> <li>在宅医療・介護現場における新型コロナウイルス感染症に関する意見交換</li> </ul>	社福祉センター 2階レクリエーション室	16名

## 【地域ケア・かかりつけ医連絡会】

月日	内容	場所	参加者
8月4日(火)	第1回 検討事項 (1)医療・介護関係者の情報共有について 医師とケアマネジャーとの連絡票、病院退院時の看護サマリー、薬局との連携など (2)地域住民への普及啓発について	加東市役所2階 健康教育室2	10名
10月6日(火)	第2回 検討事項 (1)医療・介護関係者の情報共有について 医師とケアマネジャーとの連絡票(活用状況アンケート結果より)、薬剤師とケアマネジャーとの連絡票など (2)地域住民への普及啓発について ①人生会議のリーフレット(案)について	加東市役所2階 健康教育室2	10名

12月1日(金)	第3回 検討事項 (1)介護情報提供書(薬剤情報専用)について (2)在宅医療・介護連携推進事業(次年度に向けて)	加東市役所2階 健康教育室2	10名
----------	--	-------------------	-----

#### ウ、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

「北播磨圏域要介護者における入退院支援の手引き」(北播磨県民局、北播磨圏域医師会作成)の活用促進

#### エ、医療・介護関係者の情報共有の支援

ICTを活用したシステムの構築に関しては、地域医療連携システム運用検討会において検討している。

- 「医師との連絡票」(加東市在宅医療介護連携支援センター・兵庫県介護支援専門員協会加東支部作成)の活用状況の把握(資料5 P5~9参照)
- 「口腔ケアチェックシート」(小野加東歯科医師会作成)の活用支援
- 「薬剤師との連絡票」(加東市薬剤師会・兵庫県介護支援専門員協会加東支部共同作成)

#### オ、在宅医療・介護連携に関する相談支援

平成30年より小野市・加東市医師会への業務委託により、「加東市在宅医療介護連携支援センター」を設置し、地域の医療・介護関係者から在宅医療・介護連携に関する相談を行っている。

月日	相談者	相談内容	調整連絡先
5月12日(火)	地域包括支援センター	かかりつけ医に関すること	医師

#### カ、医療・介護関係者の研修

##### 【小野市・加東市在宅医療介護連携支援センター研修事業】

小野市・加東市医師会への業務委託により、地域の医療・介護関係者の連携を強化するために、多職種での研修や医療・介護関係者に対する研修を行う。

月日	内容	参加者	場所
令和2年8月1日 (土)14:00~ 15:30	・在宅医療・介護連携でのヒヤリハットとは ・事例検討「デイケア利用中に心停止をきたしたガン末期90歳男性」	医師、薬剤師、訪問看護、ケアマネジャー、病院、包括等 12名	小野市・加東市 医師会館1階
令和3年1月28日 (木)14:00~ 15:30 WEB研修	・加東市在宅医療・介護連携支援センター相談用紙について ・情報連携シートについて ・在宅医療・介護連携推進事業について ・事例検討「在宅人工呼吸療法における多職種連携」	医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー等 37名	加東市役所 201会議室

参加者アンケートより(抜粋):

- 「それぞれの業務を行いながら、連携をうまくとられていたのが印象的でした。病院の中では起こらないようなトラブルが発生することも念頭に置いておくことも大事だと思った。」
- 「多職種連携により、患者様のスムーズな治療に移行できるだけでなく、精神状態の安定、家族の方の介護負担の軽減ができることがよくわかった。」

#### キ、地域住民への普及啓発

在宅医療や介護に関する講演会の開催等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、住民向けのセミナー開催を中止し、「人生会議」のリーフレットを作成した。

月日	内容	
令和2年10月	いきいきチャンネル	「もしものときの人生会議」というテーマで啓発を行った。
令和2年 11 月	広報かとう	「人生会議」について広報かとうに掲載した。
令和2年 11 月	リーフレット配布	関係機関へリーフレットを配布。病院の待合室等へ設置していただいた。

#### ク、在宅医療・介護連携に関する相談支援機関、関係市区町村の連携

この事業については、同一の二次医療圏域内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について協議する事業内容であるため、北播磨県民局開催の会議に出席し、連携をとるようにしている。令和2年度は8月18日に開催した。